



福島100で4位

陸上セイコー ゴールデンGP

今夏の世界選手権代表選考会を兼ねた陸上のセイコーゴールデングランプリ東京は5日、東京・国立競技場で行われ、女子100mで、日本記録を持つ福島千里（北海道ハイテクAC・帯南商高出）が11秒56で日本人トップの4位だった。

男子100mは17歳の桐生祥秀（京都・洛南高）が10秒40で日本人トップの3位となった。4月の織田幹雄記念国際で日本歴代2位の10秒01を出して注目された桐生は、向かい風1・2m/sの条件下、日本人初の9秒台はならなかった。

男子200mは高平慎士

【女子100m】日本人トップの4位でゴールした福島千里（右から2人目、大賀章好撮影）

（富士通）が20秒84で2位。飯塚翔太（中大）は右太もも裏の違和感で棄権した。

同やり投げは村上幸史（スズキ浜松AC）が81m16で圧勝。同棒高跳びは山本聖途（中大）が制した。同走り高跳びはロンドン五輪金メダルのアンナ・チチエ

ロワ（ロシア）が優勝した。

加速を後半に

福島千里 持ち味の前半でうまく加速して、それを後半につなげられるはず。（世界選手権に）行かないやと思つてます。